

## 令和3年度 第2回浜松市立図書館協議会 会議録

1開催日時 令和3年10月25日（月）午後2時から午後3時35分

2開催場所 浜松市立中央図書館臨時事務所 4階

3出席状況 委員： 小杉大輔、酒井勇治、石野純子、北脇浩美、  
三宅栄子、三津間洋子

欠席： 永井宏明、大場大晃

事務局： 文化振興担当部長 中村公彦、中央図書館長 高瀬理子、  
館長補佐 山下譲、図書館管理グループ長 内藤真澄、  
図書館サービスグループ長 鈴木早苗、  
調査支援グループ長 吉田佐織、  
資料・情報グループ長 鶴飼康生、  
天竜図書館長 村雲稔、春野図書館長 笹竹由美子、  
水窪図書館長 宇井智洋、龍山図書館長 鈴木忠、  
鈴木加織主任、森田ひとみ主任、柏木麻友子

欠席： 佐久間図書館長 高氏淳

4傍聴者 0人（一般：0人、記者：0人）

5議事内容 (1) 図書館評価について  
(2) その他

6会議録作成者 図書館管理グループ 主任 鈴木加織

7記録の方法 発言者の要点記録  
録音 無

### 8会議記録

1 開会

2 小杉会長あいさつ

3 中村文化振興担当部長あいさつ

4 議事

(1) 図書館評価について

内藤図書館管理グループ長が説明

◆資料1 図書館評価について

◆資料2 図書館評価の方法について

◆資料3 浜松市立図書館評価（令和2年度）（案）

質問意見

小杉委員 「いかす」について意見を伺う

- 三津間委員 自動車文庫は、移動に制限のある人には便利である。特に、乳幼児を連れての外出の場合は、必然的に荷物が多くなり、子供の機嫌を見計らう等、様々な配慮が必要である。自動車文庫は、小さい子供が集まる施設に定期的に回ると遠方まで足を延ばさずに済むのでさらによいのではないか。うまくいっている事業であっても、何かを変えたり付け加えたりしないと停滞につながる。自動車文庫を運行する車の台数が決まっており配本先に制限があると思うので、活用が少ない場所をやめ、活用が見込める配本先を選定するなど利用の頻度を精査したらどうか。
- 高瀬館長 自動車文庫は、市内 133 箇所で開催を行っている。その中で保育園等子供関係の配本所は 61 箇所である。配本希望にできる限り応えるため、地域の状況を確認し、配本する場所を精査しつつ利用者を増やしていきたい。
- 石野委員 他市では、子育て支援センター等で簡単に絵本を借りることができるサービスがある。以前、保育園・幼稚園等に何冊か定期的に絵本を貸し出すサービスがあったと思う。小さな子供が遊び場として利用している施設に貸し出してはどうか。
- 高瀬館長 自動車文庫は、配本先となっている施設に定期的に出向いている。一方、団体貸出の制度もあり、申請をした子供関係の施設等に対し、1 回 100 冊 2 箇月までの制限で図書館窓口にて貸出を行っている。
- 石野委員 団体貸出について施設側への周知の方法を知りたい。
- 高瀬館長 ホームページ上で案内をしている。館内の本にも限りがあることから、チラシを配る等の積極的な周知は行っていない。最近は、放課後デイサービス施設の新規団体登録が多い。
- 小杉委員 ICT の活用はおおむね高評価であったと思う。市民 1 人当たりの貸出冊数、外国語資料の貸出冊数が、コロナ禍の影響で、評価が下がっているように見受けられた。自動車文庫の実績を評価する声もあった。令和 3 年度はこの状態よりもさらによくしてほしい。
- 三宅委員 最近書籍を郵送するサービスが行われることになったが、どのくらいの利用があったのか。
- 鈴木 G 長 問い合わせは数件あったが、事業として郵送貸出に至ったのは天竜区春野町在住の方及び中区在住の方の 2 人である。春野町にお住まいの方はリピーターとなっている。
- 高瀬館長 書籍を郵送するサービスは、9 月 1 日から開始したため、まだ周知が行き渡っていない。問い合わせ自体はあるけれども有料なので、なかなか郵送貸出には至らない。
- 三津間委員 重さで郵送料金が決まるのか。

- 鈴木 G 長 重さではなく、大きさにより郵送料金が決まる。段ボール箱でなるべく小さく包み、ゆうパックで送る。
- 北脇 委員 Wi-Fi 環境を拡充するそうだが、具体的にはどのように整備し拡充していくのか。
- 高瀬 館長 現在は、城北図書館の一部に設置している。中央図書館では従来は参考図書室のみに設置していたことから、大規模改修後は中央図書館全体に Wi-Fi 環境を整備したい。まずは中央図書館全体に整備し、いずれ地区館へ広めていきたい。
- 小杉 委員 「はぐくむ」について意見を伺う  
図書館協議会による評価内容としては、学校と図書館の連携について高評価であった。乳幼児向けの講座等については、リモート配信を活用し、より一層の工夫が望まれる。
- 吉田 G 長 Zoom により「郷土研究講座」を行った。全 3 回の講座を、図書館で実施すると同時に Zoom を併用して行った。2 回目の講座では台風が予想されたので、当初図書館へ来館予定であった方へも急遽 Zoom を案内し対応した。
- 石野 委員 自己評価「今後に向けた課題」として、「乳幼児を持つ保護者向けの講座をオンラインで実施」としている。例えばどのようなサービスの提供を考えているか。計画があるならば教えてほしい。
- 鈴木 G 長 現在、満 1 歳に満たない子供をお持ちの方、妊娠中の方を対象とした読み聞かせ講座「あかちゃんのための絵本講座」を 4 館で行っている。その内の 1 回を録画して配信したいと考えている。この配信により、小さい子供を連れて、または預けて受講することが困難な方も受講ができるのではないかと。
- 石野 委員 保護者は育児についていろいろな悩みを持っている。講座で子供の生活習慣等について学べる事はよいと思う。保護者が悩んでいることについて解消できるアイデアを講座で伝えていただけたらと思う。
- 小杉 委員 「はぐくむ」については高評価であることから、さらに充実した内容になることを期待している。  
「つながる」について意見を伺う
- 北脇 委員 『浜松市図書館ビジョン』に「地域に根差したボランティアの育成と活動支援、協働」とある。中学生のボランティアの実績はよいけれども、地域の住民との連携については弱いと感じる。「自治体、企業、各種団体等と連携して実施した事業の件数」の中で、地域で図書館に関係のある市民団体とはどのような団体がどのくらいあるのか把握しているのか。
- 高瀬 館長 図書館と深く関わり連携している団体としては、図書館事業を支援してくれている障がい者サービスボランティアや、読み聞かせボランティアがある。その他にも、学校での読み聞かせを行う団体や読書会等がある。すべての団体を把握している訳ではない。

- 北 脇 委 員 図書館は、いろいろなサービス事業を用意して提供するだけでなく、事業に参加する個人とのつながりが生まれる場所である。事業活動の中で、図書館に居場所を求めてくる人と交流しつながることがないと、一方的に提供するだけで終わってしまうのではないか。
- 高 瀬 館 長 図書館対個人というだけでなく、図書館を利用する人同士が交流しつながることによって新たな発見や学びが生まれる、そんな「場」としての役割が果たせるとよいと思う。
- 酒 井 委 員 中学生は、積極的に図書館ボランティアの参加を行っている。高校生、大学生には、図書館ボランティアの参加が広がっていかない。また、図書館と外国の方との接点も弱いと思うので対策を立てた方がよいのではないか。
- 高 瀬 館 長 中学生図書館ボランティアに関しては、各学校にチラシを配り積極的に呼びかけている。意欲的にやりたいという中学生が来てくれる。図書館ボランティアに参加することにより、図書館のいろいろな面を知り、将来的に図書館に対する肯定的な思いが芽生えると考えている。しかし、高校生になると忙しくなると思うので、学校へチラシを配ってボランティアの案内を行っていない。ただ、中学生の時にボランティアを行った経験のある高校生が、忙しい中、参加を希望し、ボランティアに参加したことがあった。中学生の時の体験は、成長した時になんらかの図書館への関わりへのきっかけになっていると思う。外国の方との接点が弱いという点については、電子図書が外国の方と図書館をつなぐきっかけになるのではないかと考えている。こちらから出向き「はままつ電子図書」等について紹介すると興味を持ってくれるが、こちらから出向かなければ、外国の方が図書館へ自発的に来ることは難しいと実感している。コロナ禍になり、こちらから出向き「はままつ電子図書」等について紹介をすることが難しい状況だが、外国の方に対し、図書館を使ってみようと思っただけのよう努力したい。
- 三 津 間 委 員 自治体等との連携予定が 125 件あるが具体的に知りたい。
- 内 藤 G 長 125 件は地区図書館を含めた今年の連携予定件数である。例えば、薬局と連携した食育講座を 1 件としている。
- 高 瀬 館 長 自治体等が市民の方へ周知したいと考えている内容や情報を、よりよい展示や掲示として発信できるよう、お互い知恵を出し合い連携していく予定である。
- 三 津 間 委 員 市内各図書館の全予定数が、今年は 125 件あると理解した。議会や議員からの要請に応じて資料を用意することはあるのか。
- 高 瀬 館 長 議員から参考図書室に直接問い合わせがあれば用意する。数年前から、議会図書室と中央図書館が連携し、議会図書室でテーマ展示を行ったり、図書館から選書に関する情報を議会図書室に伝えたりしている。議員の政策立案の参考になり、ひいては市民のためになるよう努める。
- 小 杉 委 員 歴史資料の収集を進めていると思う。2023 年に NHK 大河ドラマで「どうする家康」が始まる。2017 年の NHK 大河ドラマ「おんな城主 直虎」が放映された際、図書館利用者が急増したので評価が難しかった。今後予想される「どう

する家康」効果の備えは、令和3年度の報告でいただけるのだろうか。

高瀬館長 「おんな城主 直虎」のときは、ドラマで使われた文書と浜松市図書館のデジタルアーカイブの文書とを比較して SNS に挙げてくれた人もいたなど、盛り上がった。デジタルアーカイブは現在もアクセス数が大変多いことから、「どうする家康」の時にも関連したデジタルアーカイブ資料を増やせるよう準備したいと思う。

小杉委員 「つくる」について意見を伺う  
評価指標の職員研修は評価が低めである。コロナ禍で、研修会、連絡会の件数が下がったことは理解できる。リモート配信による研修会は可能であり、既に Zoom での研修会を行っていると聞いている。令和2年度からはかなり改善されていると思う。特に研修会に関して、すでに改善されているものがあれば教えてほしい。

高瀬館長 去年は、コロナ禍で外部研修会は中止となるが多かった。リモート配信で研修会を行うことに対して環境が整わず、参加や開催も追いつかない状態であった。今年は静岡県立図書館の研修会等リモート配信で行われ、職員は積極的に参加している。リモート研修会は業務との調整が容易であることが利点である。去年に比べると今年は改善されている。

山下補佐 コロナ禍の関係もあり、リモート配信の予定であっても研修会自体が延期になるケースがある。研修会参加予定者が延期によりシフトの都合で参加できなくなるケース、逆に都合が付き参加できるケースがある。去年より、出席者は増えていると考える。

三津間委員 本日の図書館協議会では、浜松市北遠の図書館館長はリモート配信で参加している。本日の会議のようなリモート配信を利用して、図書館の職員同士、普段の業務の中での困りごとや、疑問点などについて話し合うことも研修になるのではないかと。これらを研修と捉えていないかもしれないが、研修の1つとして考えたらどうだろうか。

三宅委員 中央図書館の窓口業務直営化に伴い、窓口業務マニュアルの見直しを図ったとあるが、他に何かあるか。

高瀬館長 中央図書館は23館1分室の統括館として、窓口業務を完全に把握する必要がある。貸出、返却等の根幹業務に関しては、全館同じサービスを公正に提供する必要がある。また、日々いろいろな事案が生じるため、各対応方法を全館共通のものにする必要がある。そのためには、マニュアルの見直しができることは重要である。その他、どのような接遇やサービスが必要であるのか中央図書館の職員が実感として把握できるようになった。窓口直営化の検証は難しいが、去年の「利用に関するアンケート」や「市民への約束」のアンケート結果では、中央図書館に対する市民の満足度は上がっている。コロナ禍にもかかわらず高評価をいただけたと思う。

北脇委員 図書館には IT について詳しい職員はいるのか。

高瀬館長 IT についての専門職員はいないが、中央図書館の資料・情報グループが、本

市情報政策課と調整、連絡、相談を行いながら業務を進めている。すでに 23 館 1 分室をオンラインで繋ぎ、インターネットによる図書の予約もできるなど、図書館の IT 化は進んでいる。更に進めていきたい。

小 杉 委 員 研修に関しては、対面でなければできないもの、全員オンライン参加でも可能なもの、一部の人が対面で行った後でオンラインで見ると等、いろいろな方法があると思う。今後は可能な限り、リモート配信できるものはリモート配信で行えばよい。対面とオンラインの仕分けを進めていただければと思う。リモート配信の方法が分からない場合は問題である。浜松市の職員で知識がある人に教えて貰いつつ進めていけばよいのではないかと。

「いかす」「はぐくむ」「つながる」「つくる」について、令和 2 年度図書館評価を原案のとおり確定する。

#### (2)その他

利用に関するアンケートについて内藤図書館管理グループ長が説明  
デジタルアーカイブについて吉田調査支援グループ長が説明

#### 質 問 意 見

小 杉 委 員 令和 3 年度「利用に関するアンケート」の結果は、平均 4.20 であり、去年の平均 4.26 より少し下がった。これ以上、上げるのは困難と思う。どのような不満なのか。解決できるものであるか。解決できることは解決し、全体の満足度を維持するように努めていただきたい。分析を進めてほしい。

#### 5 閉 会

9 会議録署名人 小杉 大輔 会長  
石野 純子 副会長

令和 3 年 10 月 25 日に開催された浜松市立図書館協議会の議事録の要点について、上記のとおり間違いがないことを確認しました。

令和 年 月 日

署名 \_\_\_\_\_

署名 \_\_\_\_\_